

A7992

福岡市地下鉄1000系・
ワンマン改造 6両セット

予価:21,400円(税別)

JANコード: 131459 カートン内入数: 12

A7995

福岡市地下鉄1000N系・
後期更新車 6両セット

予価:21,400円(税別)

JANコード: 131480 カートン内入数: 12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

1981(昭和56)年7月26日の福岡市営地下鉄1号線開業に併せて登場したのが1000系です。丸みを帯びた車体断面を持つステンレス製車体には玄界灘をイメージした青と白のラインカラーが貼り付けられています。前面は左右非対称の鼻筋の通った形状で、上下2灯の前尾灯を左右の端に配した大胆なデザインは当時の大きな話題となりました。登場当初は前面貫通扉の窓が大型でしたが、増備車の登場に伴って順次小型のものに交換されました。1997(平成9)年からは順次更新工事が行われ、制御装置のVVVFインバータ化や行先表示装置のLED化、前尾灯へのカバーガラス設置などの外観上の変化が生じています。当初はGTO-VVVFインバータが採用されましたが、後年の改造車にはIGBT-VVVFインバータが採用され、さらなる省エネ化・軽量化が図られています。登場以来6両編成16本が1号線(福岡空港～姪浜)・2号線(貝塚～中洲川端)全線と、乗り入れ先のJR筑肥線姪浜～筑前前原間で活躍しています。

商品概要

- ・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実
- ・樽型の車体断面、オーバーハングの長い先頭部等特徴ある姿を再現
- ・ヘッドライト、テールライト、前面行先表示点灯。LED使用
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

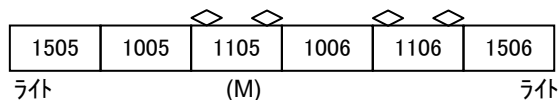
ステンレスボディに青と白の帯



編成図 A7992

- ・前面貫通扉が小型化された姿
- ・妻板にスピーカー部品を取り付け
- ・チョッパ制御の床下機器を再現

福岡市交通局商品化許諾済



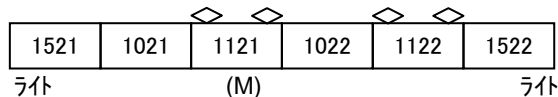
ステンレスボディに青と白の帯。前面窓拡大



編成図 A7995

- ・IGBT-VVVFインバータ制御に更新された床下機器を再現
- ・~~カバー付ヘッドライトケース~~
- ・前面貫通扉が大型化された姿
- ・ヘッドライトカバーが再度取り外された後の姿(2013.03.14.訂正)

福岡市交通局商品化許諾済



オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・灰:F0002

付属品 行先シール